



ほっかいどう  
**生涯学習**  
Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出会いや発見がきっとある

**大雪山の花ばな**



ウコンウツギ



コメバツガザクラ



クモユキノシタ



チヨウノスケソウ

撮影者 阿部 豊氏(岩見沢市在住)

**目次**

北海道生涯学習協会平成19年度	視聴覚センターからのお知らせ.....5
第1回理事会・評議員会及び収支計算書.....2	「まなびの広場」展の紹介.....5
道民カレッジのお知らせ.....3~4	随想・人の動き.....6

平成十九年度第一回理事会・評議員会開催

五月二十五日、平成十九年度の第一回理事会・評議員会が開催され宇田川会長の挨拶に続き議事に入り、「平成十八年度事業報告」及び「平成十八年度収支決算、監査報告」が提案され原案どおり承認されました。

また、推薦団体等の人事異動により辞任した理事・評議員の補充について、それぞれ評議員会・理事会で次のとおり選任されました。

議事

- ・議案第一号 平成十八年度事業報告
- ・議案第二号 平成十八年度収支決算、監査報告
- ・理事、評議員の補充について

新役員

・理事

- 喜多 義 憲 (北海道新聞社 取締役事業局長)
- 町井 輝 久 (北海道大学大学院 教授)
- 水島 良 治 (株)北洋銀行 人事部長)

・評議員

- 清水 勇 行 (北海道青年の家等連絡協議会 会長)
- 高間 専 逸 (北海道高等学校PTA連合会 会長)
- 細野 敏 (北海道高等学校長協会 副事務局長)



平成18年度 収支計算書総括表

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単価：円)

科 目	一般会計	道立生涯学習推進センター事業受託特別会計	北海道社会教育委員連絡協議会事業受託特別会計	北海道公民館協会事業受託特別会計	北海道教育関係公益法人協会事業受託特別会計	内部取引消去	合計
<b>事業活動収支の部</b>							
<b>1 事業活動収入</b>							
基本財産運用収入	12,773						12,773
事業収入	1,507,400						1,507,400
受託事業収入	0	45,897,000	4,745,000	4,340,000	1,973,000		56,955,000
会費収入	1,925,000						1,925,000
補助金収入	11,612,000						11,612,000
寄付金収入	200,000						200,000
雑収入	70,000						70,000
借入金収入	0						0
繰入金収入	6,500,000					6,500,000	0
<b>事業活動収入計</b>	<b>21,827,173</b>	<b>45,897,000</b>	<b>4,745,000</b>	<b>4,340,000</b>	<b>1,973,000</b>	<b>6,500,000</b>	<b>72,282,173</b>
<b>2 事業活動支出</b>							
管理費	15,961,579						15,961,579
事業費	4,893,854						4,893,854
受託事業費支出	0	44,659,565	1,745,000	1,340,000	1,136,664		48,881,229
繰入金返済支出	0		3,000,000	3,000,000	500,000	6,500,000	0
借入金返済支出	0						0
補助金委託費返納支出		1,237,435			336,336		1,573,771
<b>事業活動支出計</b>	<b>20,855,433</b>	<b>45,897,000</b>	<b>4,745,000</b>	<b>4,340,000</b>	<b>1,973,000</b>	<b>6,500,000</b>	<b>71,310,433</b>
当期収支差額	971,740	0	0	0	0	0	971,740
前期繰越収支差額	3,013,792	0	0	0	0	0	3,013,792
次期繰越収支差額	3,985,532	0	0	0	0	0	3,985,532

# 道民カレッジの お知らせ

## 道民カレッジ事業について

道民カレッジは、北海道を一つのキャンパスに、道内各市町村や大学等の高等教育機関、各種団体や民間教育事業者等が行う講座等を体系化し、ネットワークを図りながら様々な学習機会を提供し、道民が自らの意思によって、いつでも、どこでも、希望の講座を選び、学ぶことができるようにした「生涯学習支援システム」です。

是非、多くのカレッジ生と、交流を深めてみませんか。

「道民カレッジ」の実施状況  
(三月三十一日現在)

- 学生数
- 二〇、四六三名
- (男) 八、八〇八名
- (女) 一一、六五五名
- 称号取得者
- 学士(一〇〇単位) 一七七名
- 修士(二〇〇単位) 九一名
- 博士(三〇〇単位) 六〇名
- 学長奨励賞(一〇〇〇単位) 三名

## 連携講座数

ほっかいどう学コース

一三二団体 二七五講座

能力開発コース

九四団体 三〇八講座

環境生活コース

一三二団体 二〇六講座

健康・スポーツコース

八四団体 二〇〇講座

教養コース

二〇二団体 六一四講座

(合計：一六〇三講座)

平成十九年度「ほっかいどう学」  
大学放送講座

道内の十大学が参加します。

十月から放送予定です。

・放送時間は未定

再放送(十月中旬以降予定)

・放送時間は未定

ブロードバンドでの番組配信予定

「大学放送講座」テキストを販売

(8月下旬販売予定です)

1冊1000円(送料105円)

・購入いただき、三十分間のテレビ

視聴と併せて、レポートを提出す

る時の参考にしてください。

一レポート提出につき必修単位が

一単位認定されます。

## 【放送内容】

### 第一回 札幌大学

「海獣狩猟民族が担ったオホーツク文化への案内」  
文学部文化学科教授 川名 広文

### 第二回 旭川大学

「北の商店街と街づくり」  
経済学部教授 佐々木 悟

### 第三回 北翔大学

「北の風土と美術」  
大学院生涯学習研究科教授 奥岡 茂雄

### 第四回 北海学園大学

「北の大地で起業する！」  
法学部教授 樽見 弘紀

### 第五回 北海道医療大学

「音楽療法って何？」  
看護福祉学部臨床福祉学科准教授 近藤 里美

### 第六回 北海道情報大学

「読み書き算盤と経営学教育」  
経営情報学部教授 福島 吉春

### 第七回 北海道大学

「地理異変からみた北限のブナ林」  
北方生物圏フィールド研究センター教授 日浦 勉

### 第八回 北海道東海大学

「デンマークの家具がどうして世界水準にまで到達できたか」  
旭川キャンパス芸術工学部教授 織田 憲嗣

### 第九回 東京農業大学

「北海道沿岸の湖と流域」  
生物産業学部アクアバイオ学科講師 園田 武

### 第十回 北海道教育大学

「歩くスキーで冬の自然を楽しもう」  
苫小牧キャンパススポーツ教育コース准教授 前田 和司

「ほっかいどう学検定」に向けて  
昨年度の第一回道民カレッジ運営委員会において、ほっかいどう学検定が提案され、その後議論を重ねてきたところですが、今年度の第一回運営委員会で、ほっかいどう学検定検討委員会を立ち上げ、具体的な実施方法等について議論することが承認されました。

この検定の主旨は、次のとおりです。

「ほっかいどう学」の学習成果を積極的に生かすため、ほっかいどう学の各分野での基礎的・基本的知識について学習の成果を評価し、ボランティア活動をはじめとする道民の自主活動を発展させ、社会的活動や職業的活動に従事する際にも評価されるような「ほっかいどう学検定」を企画し実施することは、地域づくりのために有用であるだけでなく、検定のための講座の受講・検定試験等の単位互換や総合学習等と結合させることにより、大学生や高校生・中学生など若い世代にも有益である。また、教員に検定取得を勧めることで、それぞれの教科と地域づくりを結びつけた学習も可能となる。

来年度の検定実施に向け、早速検定委員を委嘱し、第一回検定委員会を開催する予定であります。

『ほっかいどう学』出前講座

日頃から、道民カレッジ事業の推進にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成十七年度から、受講生の学習成果を活用した北海道の創造に向けた人材の育成を目指し、「ほっかいどう学」を機軸とした取り組みとして、「ほっかいどう学」出前講座を実施しております。

この事業は、「道民カレッジ」の主催講座として、まちづくりの実践的な知識・ノウハウを持つ講師を地域に派遣して、地域課題と取り組む生涯学習を支援する出前講座を実施し、もって地域づくりに貢献する人材の発掘・育成を図ることを目的とした地域づくりの実践講座です。

今年度で三年目となる出前講座は、これまで、二十市町村を会場に実施し、延べ千二百一名の参加者が募り、各町の地域課題について取り組みられ、一定の成果をあげているところでは、

その一例をご紹介しますと、平成十八年三月の弟子屈町の講座では、「観光地としての川湯温泉の足場づくりのために」を学習テーマとして、札幌国際大学教授松田忠徳氏を講師に迎え、観光地としての川湯温泉の「温泉」を核としたまちづくりを進めるための方策を探りました。地元

住民（ホテル、土産、飲食店経営者等）二十名程の参加のもと、ホテル

旅館の接客の在り方や住民ができることは何かなどについて熱心な議論が行われ、今後のまちづくりに向け、大きな第一歩になっていきます。

今年度も道内六圏域十二回の開催を予定していますが、現在着々と市町村から声が上がっています。

開催地所管の教育局にも支援をいただきながら、学習プログラムを協働で作成していきたいと考えていますので、奮って応募してください。申し込みの締切は、六月二十九日（金）です。

第一回出前講座を富良野市で開催します。

日時 六月二〇日(土)  
午後一時～五時

場所 富良野市総合保険センター  
テーマ 「地域づくりは人づくり」  
「地域の子どもは、地域で育てる」

詳しくは「道民カレッジ」HPをご覧ください。

「ほっかいどう学」ネットワーク推進事業

参加者募集

この事業は、道内各地で実施されている「地域学」とのネットワークを図り、ボランティアを含む地域の人材育成や地域づくりのノウハウを学ぶ「ほっかいどう学ネットワーク推進事業」として全道的・広域的に展開し、地域における学習機会の提供や地域づくり・人づくりを一層推進するものです。

『ほっかいどう学』ネットワーク推進事業

【平成19年度～20年度】

「ほっかいどう学」を基盤とした広域的な地域学の実践講座を開設します。（6圏域7会場）  
ボランティアの育成を含む地域の人材育成を図ります。  
地方での広域的な学習機会の拡充と地域づくりのノウハウを学びます。

「ほっかいどう学」の推進  
ボランティアの育成  
「地域学」のネットワーク化  
地方での広域的な学習機会の提供  
地域づくりのきっかけ

平成十九年度

六圏域で七回実施！

- ・詳細はHPで随時公開
- ・道民カレッジ必修一単位又はほっかいどう学三単位

第一回 実践講座

テーマ

「地域に根ざした活動を考える」

期日

七月十三日（金）十時三十分～

会場

かでの2・7 八階 820研修室

札幌市中央区北2条西7丁目

内容

「地域学」実践事例発表会

・石狩市教育委員会

・苫小牧市博物館

基調講演

東北芸術工科大学教養部

教授 赤坂憲雄氏

第二回 実践講座

期日

八月六日（月）十時三十分～

会場

かでの2・7 八階 820研修室

内容

基調講演及び地域活動・ボランティア活動の実践発表

「基調講演」

武笠国際教育研究所

代表 武笠和夫氏

「実践事例発表」

社団法人北海道美術館協会の

NPO法人さつほむ村「ミニミニ工房」

## 視聴覚センターからのお知らせ

視聴覚センターでは、収蔵する約五千タイトルの視聴覚教材(ビデオ、DVD、十六mmフィルム)を無料で、全道の皆様にお貸ししています。ここでは、平成十八年度に整備した教材からご紹介します。

『イタンキ浜の夏〜室蘭 艦砲射撃の爪痕』  
(二〇〇六年 VHS 二五分)

一九四五年七月十五日に室蘭を襲った米第三艦隊の艦砲射撃。その記憶を現代に伝えるべく、企画・制作された作品。

『検診で要注意といわれたアナタに〜検診結果の見方と活かし方』  
(二〇〇〇年 VHS 二五分)  
製作・アスパクリエイト)

定期健康診断で健康診断受診者の4割以上の人に何らかの異常が認められています。「異常なし」から「要受診」まで、主な健診結果の数値の見方と注意点を分かりやすく解説します。

『SEXつてなに?〜中高校生のための性教育用DVDソフト』  
(二〇〇五年 DVD一五〇分)  
中高校生のための教育現場用性教育DVDビデオソフト。中高校生の性に関する疑問や悩みに、コンピュータグラフィックスを使用したわかりやすい映像で、ていねいに解説しています。

『日本一短い「愛」の手紙』  
(一九九六年 VHS 二三分)  
アニメーション作品)  
短いからこそ、伝わる思いがあります。短いからこそ、鮮明になる人の奥深さがあります。

『千夏のおくりもの』  
(二〇〇五年 VHS 五四分)  
子どももの率直な疑問から、大人が無意識のうちに持っている「世間の常識」、「偏見」などを問い直す内容。

『守ろう! みんなのたいせつな命』  
(二〇〇一年 VHS 二〇分) 製作・日本映画新社)  
小学校を訪れたフレンドリー君が、命を守るためにみんながどのような学習をしているのかを調べます。

『人権入門』  
(二〇〇五年 VHS 二三分)  
ドラマを通じて、お互いの人権のあり方を考える構成です。複雑化する社会の中で個人の尊厳を守るための「人権」の概念を楽しく、わかりやすく映像化しました。

『おくのほそ道』  
(二〇〇三年 DVD、CD 四枚組)  
松尾芭蕉の世界を朗読と映像で紹介する大作。朗読は幸田弘子。映像、朗読が納められたDVD二枚組と朗読部分だけを納めたCD二枚組の二セットになっています。

らくらくWEBで申し込み  
視聴覚センターの教材は、WEBから借用の申し込みをし、宅配便で受け取ることができます。

詳しくは左のアドレスにアクセスを!  
<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>

お問い合わせ.....  
電話 〇一一 一三三一 四一一一

FAX 〇一一 一三三八 六六六四

## 「まなびの広場」展の紹介

情報交流広場(まなびの広場)では、一年間を通じて計画的に道内の生涯学習関係団体や道内各市町村の活動紹介及び展示等の発表の場を提供しています。皆さんの「まち」や「団体」も応募してみませんか。六月以降の展示計画についてご紹介します。

- 六月・国立大雪青少年交流の家  
「ゆーすびあつてナンだ?」
- 七月・三笠北海盆おどり実行委員会  
「第6回三笠北海盆おどり」
- おはなしなあに
- 心を育てるおはなし会
- 八月・白老町まなび会いバンク登録者の会(町教委)
- 「白老スペシャルリストフェスタ2007」
- 札幌切り絵の会
- 「第5回北海道切り絵作品展」
- 九月・道民カレッジ「大学放送講座」  
「平成19年度大学放送講座」
- 十月・細川流盆石  
「細川流盆石展」
- 北海道保健福祉部保健医療局  
「臓器移植及び骨髄バンク普及

## 啓発パネル展

- 十一月・かてる2・7 書と絵手紙サークル  
「書と絵手紙サークル展」
- 北海道美術作家協会  
「北海道美術作家協会同人展」
- 十二月・小枝アート、小枝アート展  
「北海道心の教育推進会議  
「心の教育推進キャンペーン  
強調月間展」
- 一月  
北海道保健福祉部地域福祉課  
「平成19年度北海道福祉のまちづくり展」
- 二月  
新冠町教育委員会レコード課  
「レコード、蓄音機展」
- アートスタジオBENIO  
「千代紙 and 羊毛」
- さつばろ花の会  
「花を中心とした写真展」



国立日高青少年自然の家

### 吉田茂と司牡丹

私は、昨年まで北見市常呂町に三十年居住していました。常呂町は、四国の高知県佐川町と姉妹提携している町です。そうです、「司牡丹」という日本酒で有名なところですよ。

それにまつわる面白い記事がある雑誌に載っていましたので紹介したいと思います。

服や車、果ては飼い犬に至るまで、生活のあらゆる場面にこだわりを見せた政治家・吉田茂。とりわけ日本酒は彼の人生にとって大きな意味をもったのである。吉田が衆議院議員に初めて立候補したのは父の故郷土佐であった。

その際、彼は「よい酒を東京からもって行く」と提案したが、……選挙区の有志たちから「土佐には自慢の酒がある」と叱られ断念。

その自慢の酒こそ司牡丹である。その甲斐あってか、吉田は見事当選。彼の政治家人生の基礎を築いたのだ。こだわり派の吉田にしては、首都圏に住んでいたために地酒の素晴らしさを味わう機会を得なかったという事になる。

このような記事ですが、司牡丹の命名は明治維新の志士田中光頭（一八三三・一九三九年）によるそ

うです。

彼は明治、昭和の陸軍軍人・官僚・政治家とされる人物で、青山という号をもっていました。

家は土佐藩の国老深尾家の新小姓格でしたが、勤王党に加わり一八六三年上洛し諸藩の志士と交遊し、一八六四年長州藩の尊王倒幕運動を援助するため脱藩。薩長連合に尽力し、一八六八年明治維新政府に出仕し、晩年には「青山文庫」の設立に尽力したそうです。

青山文庫とは、田中光頭が寄贈した皇室関係品や明治維新の志士の遺墨などを中心にした展示施設です。

江戸時代初期から明治中期までの日本史の流れが理解できるような所蔵品の年代別展示と、土佐や佐川町の人物紹介などがあります。

「文教のまち・佐川」として知られる佐川町は、明治の早い段階でこのような文化的施設を設立したわけですが、司牡丹と関係していることに妙味があると感じるのは、考えすぎでしょうか。

常呂町は、佐川町との姉妹提携で、とくに子供たちの相互交流を重視していますが、子供たちが大人になった時その経験が大きく生かされてくるのではないかと期待しているところです。

北海道生涯学習協会

会長 宇田川 洋

### 人の動き

転入

四月一日付

総務課長

辻 寛（札幌聾学校から）

学習振興課長

十河 栄一（学習振興課主幹から）

学習振興課主幹

石田 八朗（道立青年の家から）

学習振興課主幹

佐賀 康悦（道立教育研究所から）

相談員

川原 征一

転出

学習振興課長

武田 英夫（道立厚岸少年自然の家へ）

学習振興課主幹

小林 元（総務政策局施設課へ）

視聴覚センター主幹

福原 至（八雲町立関内小学校長へ）

視聴覚センター社会教育主事

原田 英明

（道立生涯学習推進センターへ）

三月三十一日付

退職

事務局次長

竹本 廣之

相談員

中村日出男

### 新会員紹介

次の方が新たに賛助会員になられました。今後ともよろしく願います。

個人会員

富田 朋代（伊達市）

### 事務局からのお願い

・会員の皆様で住所が変わられた方は、事務局までお知らせください。

・本年度の事業が始まりました。誠に恐縮に存じますが、会費未納の方は、納入についてよろしく願います。

### 編集後記

北海道は、一年で一番過ごしやすい季節となりました。大通公園では、五月にライラックが一斉に咲きほころび、そして、アカシアが心地よい風に揺れる北国の初夏を迎える中、よさこいが始まりました。

まさしく百花繚乱のごとく熱舞が見られ道民の明日を拓く力強い姿を目の当たりにしたところですよ。

平成十九年度もスタートしました。「新しい自分との、出会いや発見がぎつとある」をテーマに北海道の生涯学習の推進・充実に努めてまいりたいと考えておりますので、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様の上げますとともに、皆様のお祈り申し上げます。